

第48回

港北区民剣道大会

日	時	令和4年12月10日(土)
場	所	港北スポーツセンター
主	催	港北区剣道連盟
後	援	港北区役所・港北区スポーツ協会

種目別参加人数

	部 別	参加人数
1	小学1・2年の部	17
2	小学3年の部	21
3	小学4年の部	14
4	小学5年の部	12
5	小学6年の部	16
6	中学男子の部	44
7	中学女子の部	49
8	高校・一般女子の部	12
9	高校・一般男子の部 35歳未満	58
10	一般男子の部 35歳以上	34
	合 計	277

○試合規則及び試合方法について

全日本剣道連盟「剣道試合審判規則並びに同細則」、
及び港北区剣道連盟「感染拡大予防ガイドライン」、
ならびに大会申し合せ事項による。

<試合方法> 全部門 「場外反則はあり」とする。

- ・ 個人戦の準決勝以上は勝敗の決しない場合、時間無制限延長戦一本勝負とする。

①小学生の部（個人戦）

- ・ 試合時間は2分3本勝負。勝敗の決しない場合は1分間延長の上、判定とする。

②中学生の部、高校一般男子、高校一般女子の部（個人戦）

- ・ 試合時間は3分3本勝負。勝敗の決しない場合は1分間延長の上、判定とする。

○大会表彰について

優勝 1賞 準優勝 1賞 3位 2賞

大会次第

1	開	会	の	こ	と	ば
2	会	長	あ	い	さ	つ
3	審	判	長	注	意	合
4	個		人	試	表	評
5	成		績	発	ば	
6	講					
7	閉	会	の	こ	と	

※小学生は着替えた状態で入館し、着装したまま退館してください。
 ※各時間帯で選手一名につき、一名のみ付き添いの保護者等が入場できます。

	時間・控室	対象	試合会場
第一 時間帯	受付：9:00 直接第一体育室へ入る 開始予定：9:30 終了予定：11:00	小学1年・2年	第一会場
		小学3年	第二会場
		小学4年	第三会場
		小学5年	第四会場
		小学6年	第四会場
第二 時間帯	受付：11:00 控室：第三体育室 (11時から使用可能) 開始予定：11:30 終了予定：13:00 ※女子の更衣は更衣室を利用	中学男子	第一・二会場
		中学女子	第三・四会場
第三 時間帯	受付：13:30 控室：第三体育室 開始予定：14:00 終了予定：16:00 ※女子の更衣は更衣室を利用	一般男子35歳未満	第一・二会場
		一般男子35歳以上	第三会場
		一般女子	第四会場

大会役員

敬称略

大会名誉会長	港北区剣道連盟相談役	金子元二
大会会長	港北区剣道連盟会長	平田邦昭
大会副会長	港北区剣道連盟副会長	星純一
大会顧問	神奈川県剣道連盟会長	小林英雄
	横浜市剣道連盟会長	吉續干城
大会委員長	港北区剣道連盟理事長	鴨田憲二
大会副委員長	港北区剣道連盟大会部長	橋本和宏
大会事務局運営	鈴木守進行猪狩伸也総務	田中剛
	会計斎藤達雄記録江藤聖弓救護	別所恵美

受警 付備 自土 彊曜 館曜 武道場 会

○剣道の理念

剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

○剣道修練の心構え

剣道を正しく真剣に学び 心身を錬磨して

旺盛なる気力を養い

剣道の特性を通じて

礼節を尊び 信義を重んじ

誠を尽くして 常に自己の修養に努め

以って国家社会を愛して 広く人類の平和繁栄に

寄与せんとするものである

競 技 役 員

会 場 係 第 1 会 場 す み れ が 丘
 第 2 会 場 撰 心 館
 第 3 会 場 城 郷
 第 4 会 場 港 北 少 年

審 判 長 大 芝 信 雄 (教 士 八 段 : 慶 應 理 工)

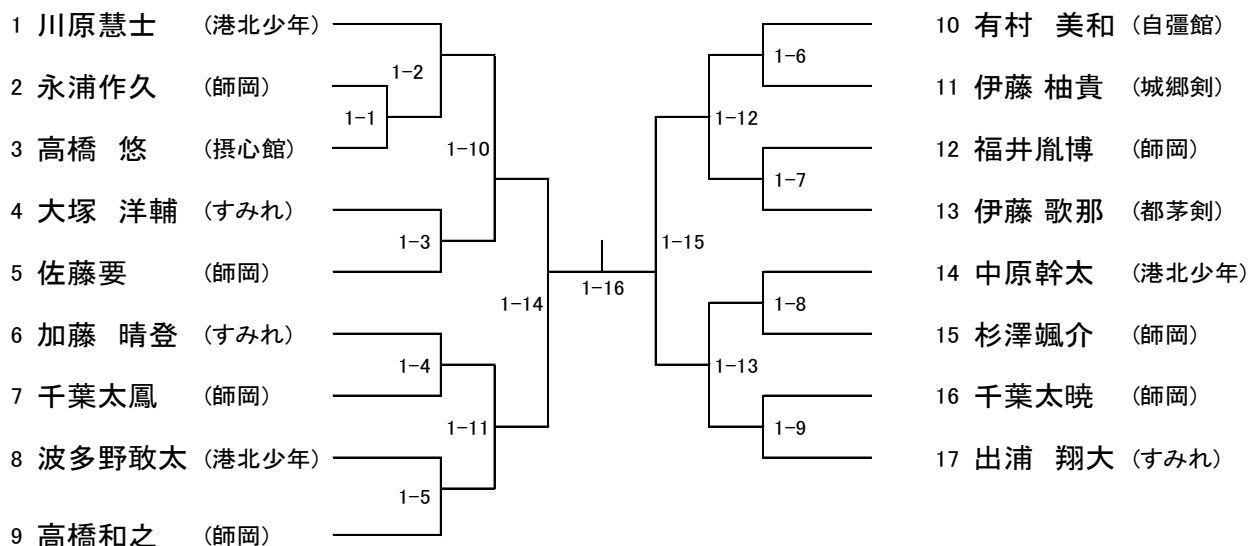
審 判 員

会 場	主 任	氏 名	支 部	称 号 ・ 段 位
第 一 会 場	◎	田 中 陽 介	山 王	教 七
		鈴 木 守	都 筑 茅 ヶ 崎	教 七
		中 丸 敏 明	一 心	錬 六
		飯 田 尚 之	自 彊 館	錬 六
		山 下 勉	港 北 少 年	錬 六
		山 野 祐 一	す み れ が 丘	六
		藤 山 知 加 子	山 王	四
第 二 会 場	◎	栗 原 勉	す み れ が 丘	教 七
		安 藤 滋	自 彊 館	錬 七
		早 津 理 恵	都 筑 茅 ヶ 崎	錬 七
		菊 地 研	城 郷	錬 六
		菊 池 誠 二	誠 義 会	錬 六
		小 澤 信 弘	港 北 少 年	錬 六
		荒 卷 拓 也	山 王	六
第 三 会 場	◎	滑 川 康 一	自 彊 館	教 七
		浜 辺 克 治	慶 應 理 工	教 七
		加 瀬 英 樹	山 王	教 七
		関 康 文	撰 心 館	錬 六
		川 野 紀 幸	都 筑 茅 ヶ 崎	錬 六
		工 藤 雅 史	一 心	錬 六
		浜 町 ま み 子	山 王	六
第 四 会 場	◎	宮 田 一 智	山 王	教 七
		荻 原 博	誠 義 会	錬 七
		松 岡 伸 一	す み れ が 丘	錬 七
		中 島 宏 晃	自 彊 館	錬 七
		横 井 康 秀	師 岡	錬 六
		鶴 田 裕	都 筑 茅 ヶ 崎	六
		桐 生 亮 太	港 北 少 年	五

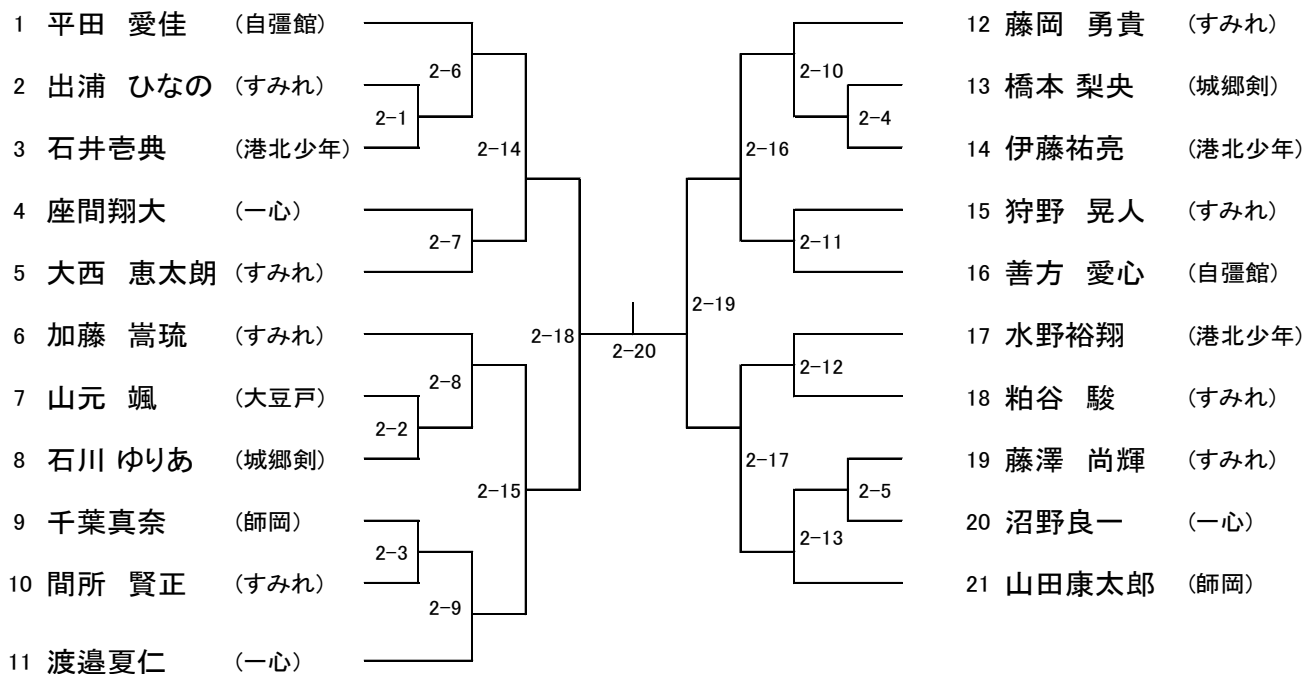
港 北 区 民 剣 道 大 会 成 績 一 覧 表

第四十五回大会		第四十六回大会		第四十七回大会	
平成29年度優勝者		平成30年度優勝者		令和元年度優勝者	
小1・2	荒 卷 遥 斗 (山王体育館)	小1・2	小 浦 駿 ノ 介 (自彊館)	小1・2	長 谷 川 鎌 (港北少年)
小 3	森 慎 之 助 (自彊館)	小 3	荒 卷 遥 斗 (山王体育館)	小 3	小 浦 駿 ノ 介 (自彊館)
小 4	田 邊 峻 太 郎 (自彊館)	小 4	森 慎 之 助 (自彊館)	小 4	小 林 直 央 (自彊館)
小 5	大 畠 啓 資 (師岡剣友会)	小 5	黒 岩 玲 音 (自彊館)	小 5	池 田 隼 斗 (山王体育館)
小 6	大 城 龍 海 (自彊館)	小 6	大 畠 啓 資 (師岡剣友会)	小 6	桑 名 清 純 (すみれが丘)
中1男	萩 原 正 樹 (港北少年)	中1男	宮 川 虹 典 (港北少年)	中1男	大 畠 啓 資 (師岡剣友会)
中2男	大 高 夏 輝 (自彊館)	中2男	石 川 碧 惟 (摂心館)	中2・3男	萩 原 正 樹 (港北少年)
中3男	滑 川 和 澄 (自彊館)	中3男	大 高 夏 輝 (自彊館)		
中1女	間 所 葵 (すみれが丘)	中1女	田 中 有 瑠 々 (師岡剣友会)	中1女	福 清 青 南 (都築茅ヶ崎)
中2女	土 屋 さ く ら (大綱中)	中2・3女	青 沼 空 来 (自彊館)	中2女	松 井 は な (日吉台中)
中3女	原 楓 葉 (大綱中)				
一般団体	山 王 体 育 館	一般 男子団体	港 北 少 年		
		一般 女子団体	す み れ が 丘		

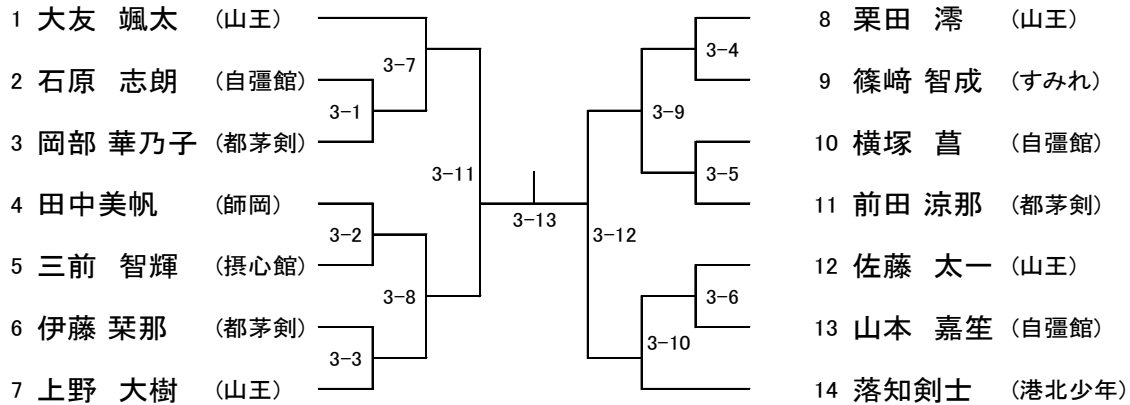
小学1・2年生



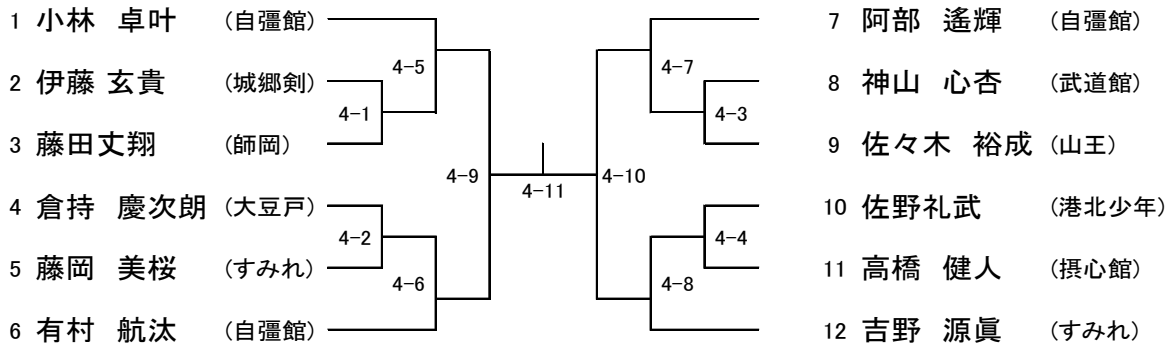
小学3年生



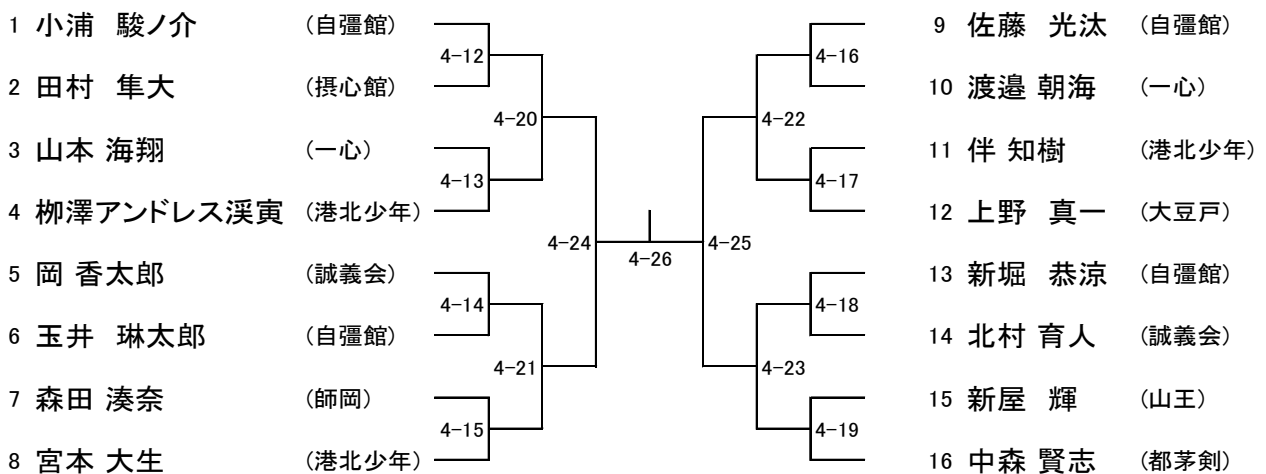
小学4年生



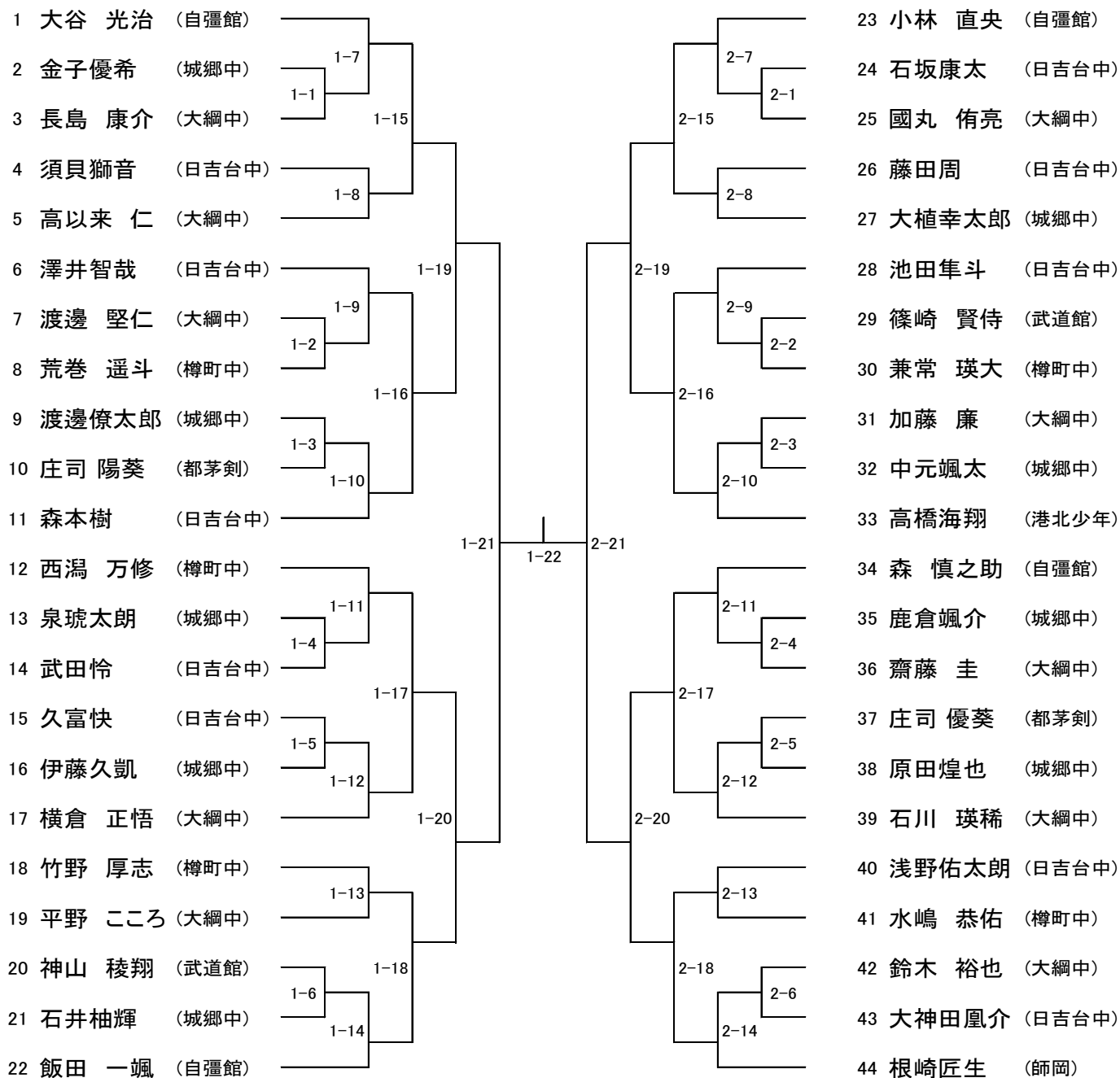
小学5年生



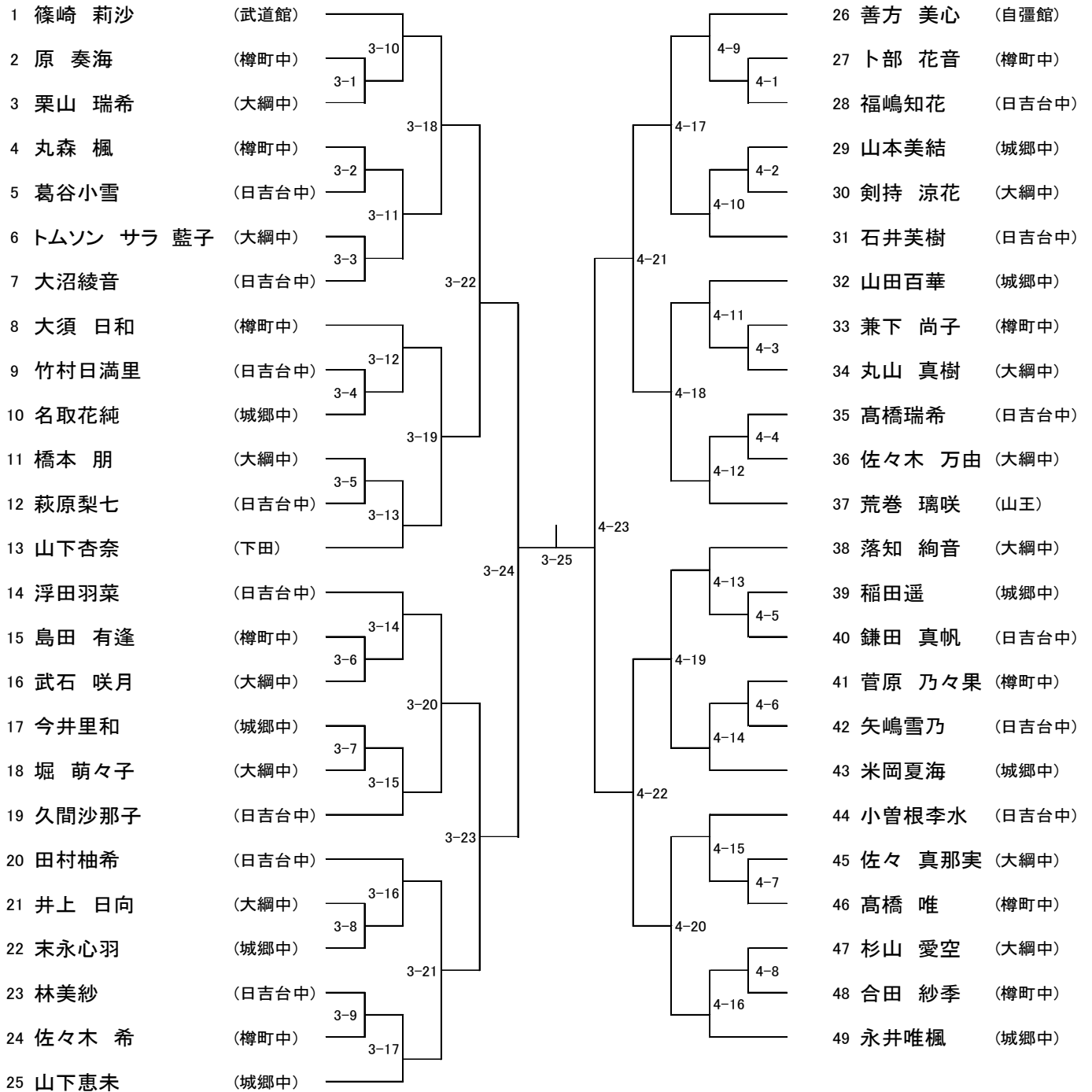
小学6年生



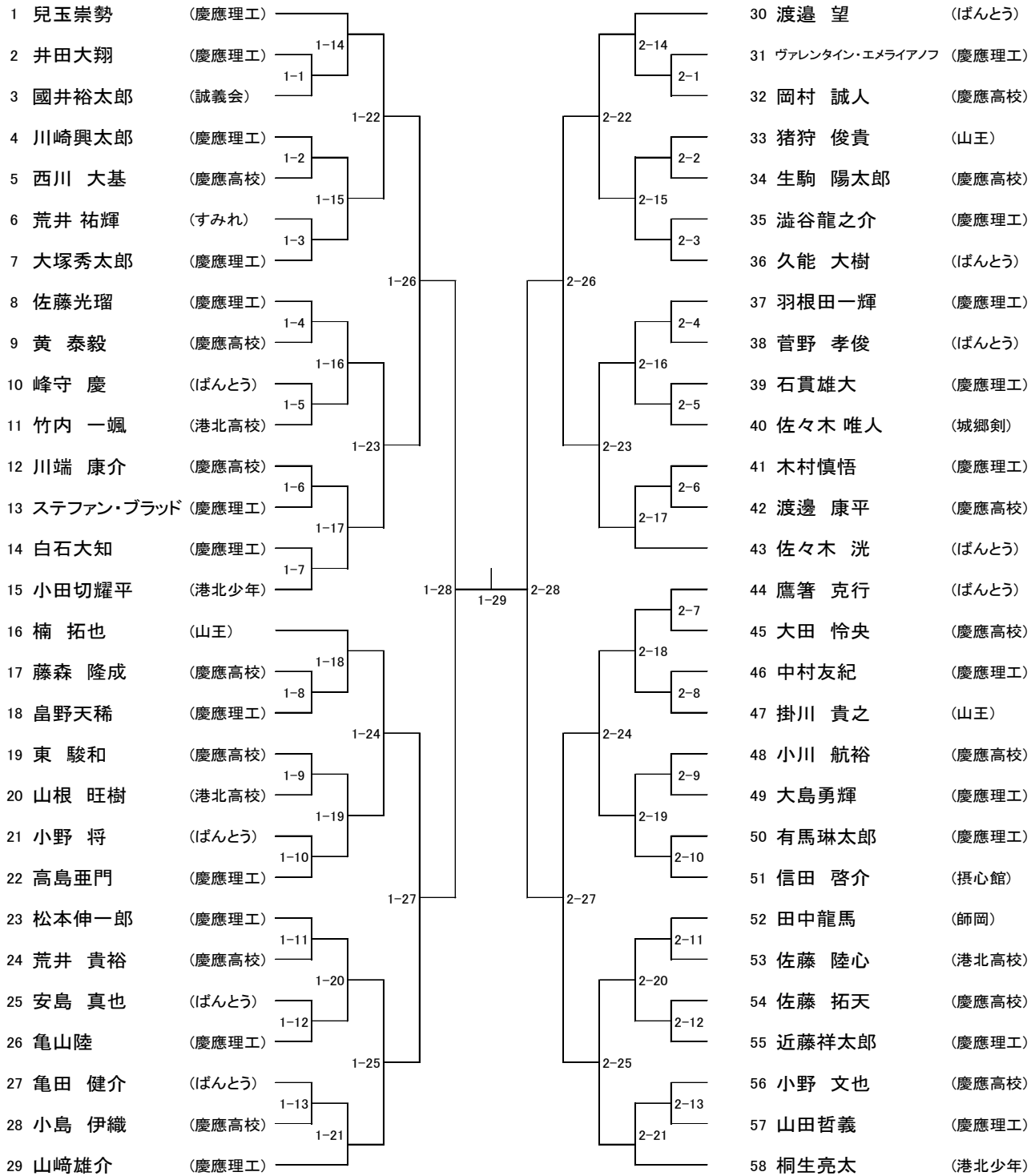
中学生男子



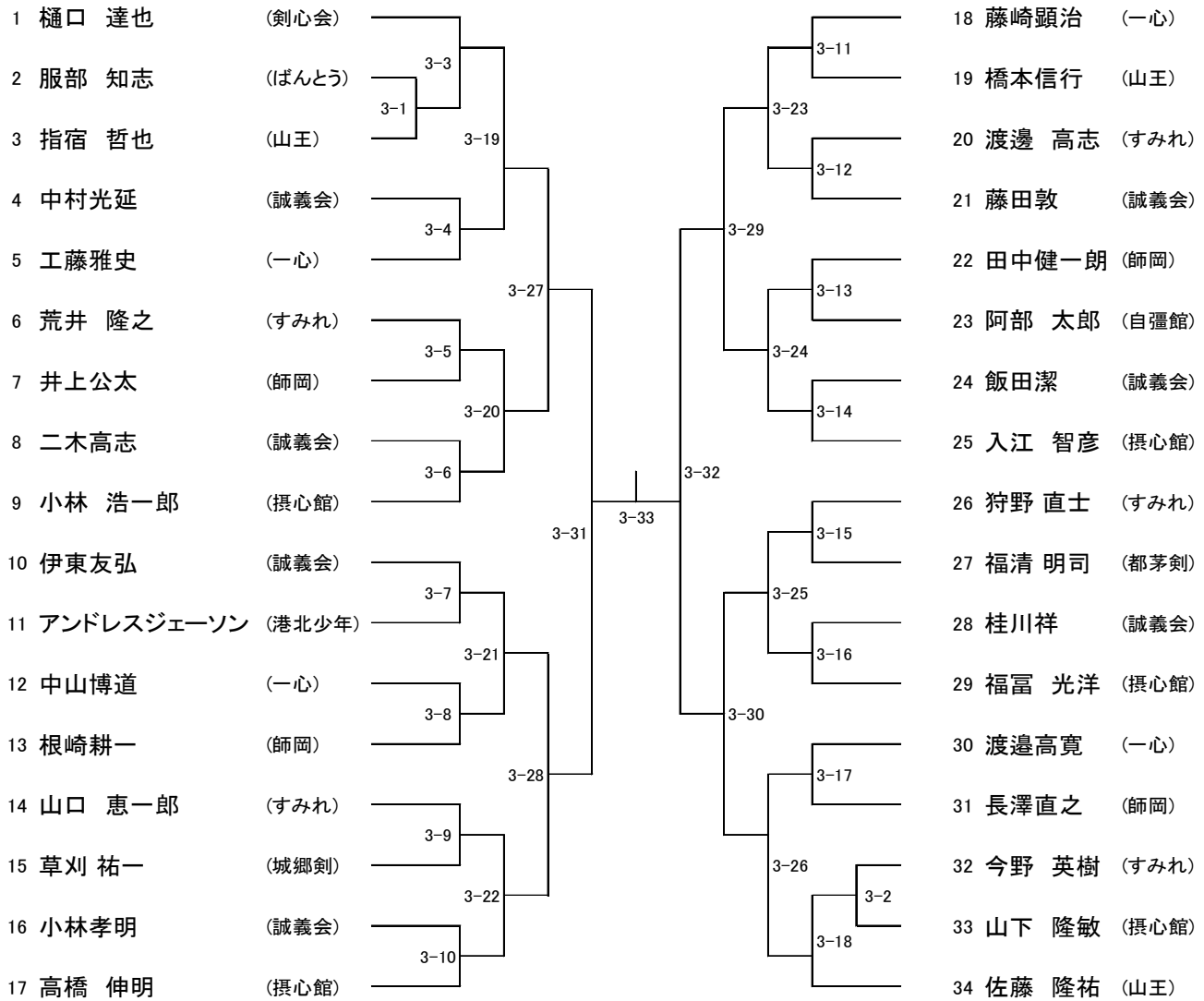
中学生女子



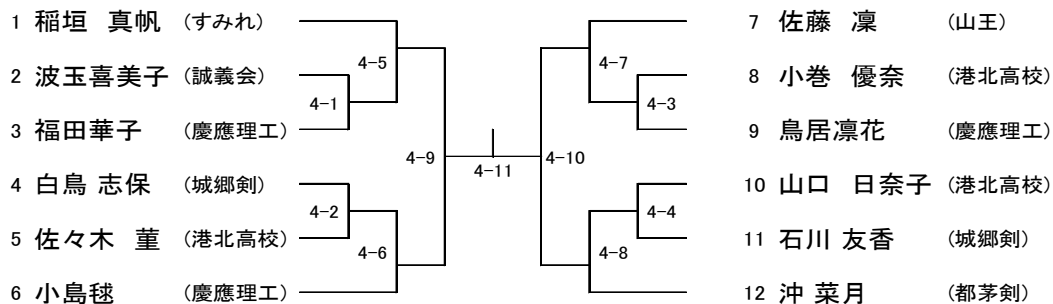
高校一般男子35歳未満



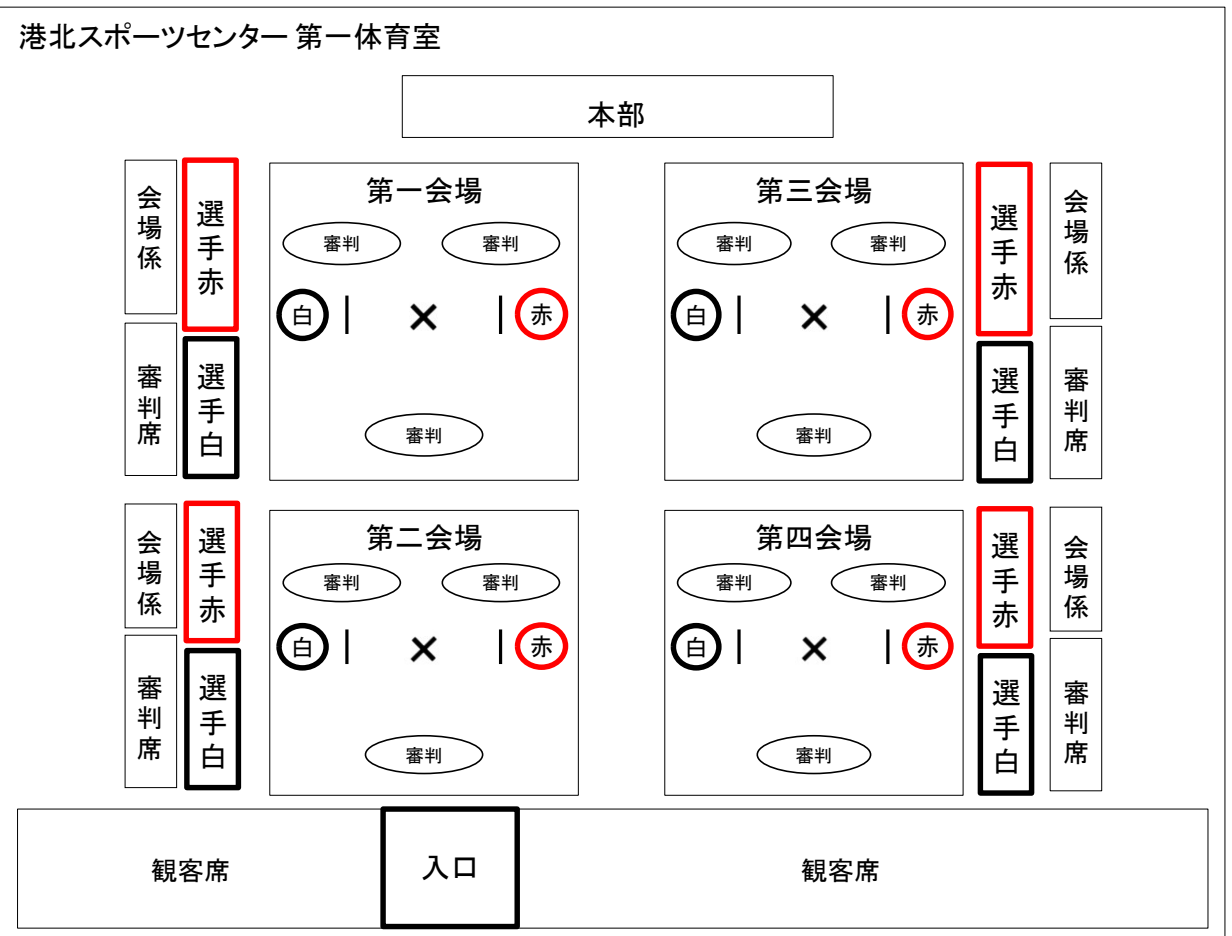
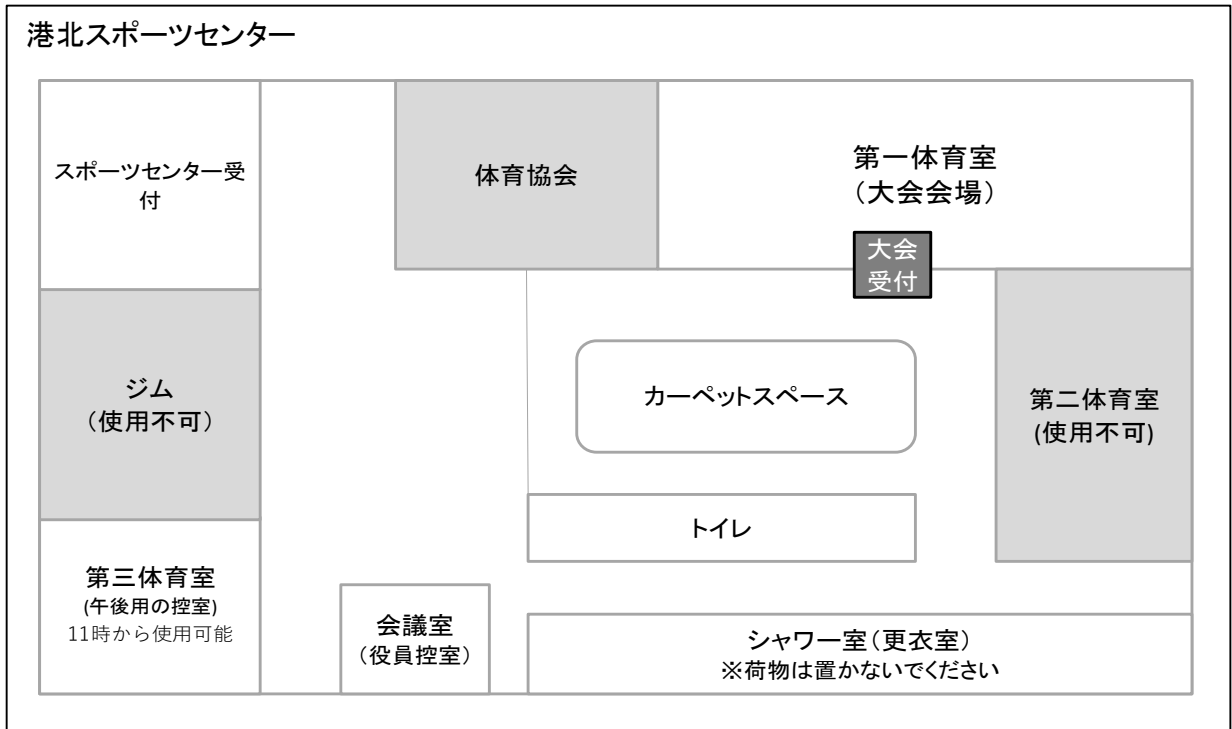
一般男子35歳以上



高校一般女子



会場案内図



港北区民剣道大会開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン

【港北区民剣道大会を開催するにあたって】

1. 港北区剣道連盟（以下ガイドラインにおいて「主催者」）は、港北区民剣道大会（以下ガイドラインにおいて「大会」）を開催するにあたって、神奈川県及び大会会場となる施設の方針を遵守するものとする。
2. 主催者は大会を開催するにあたって、参加者並びに関係者に対し、このガイドラインの内容を徹底する。
3. 主催者は、大会スケジュールを策定するにあたって、入場・受付の密集を避けるため受付時間を幅広く取るなど、全体として余裕を持った時間割とする。
4. 主催者は、参加者並びに関係者以外（例えば、付き添いや見学者）は入場できないことを、あらかじめ徹底する。
5. 参加者並びに関係者は、ガイドラインを遵守し、安全な大会の運営に協力する。

【大会への参加にあたって】

1. 以下に該当する者は参加できない。
(ア) 基礎疾患のある者
基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう
これらの者が理由あって参加する場合は、主治医の承認を得るものとする
(イ) 発熱のある者（個人差があるが、一般的には37.5度以上ある者をいう）
(ウ) 咳・咽頭痛など風邪の様な症状がある者、その他体調がよくない者
(エ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
(オ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
2. 参加者は、大会当日に自宅等で検温を行い、健康チェックリストに、氏名、年齢、住所、連絡先電話番号及び当日の体温を記録し、大会会場に持参する。
3. 参加者は、面マスク、マウスガード及び市販マスクを持参する。
(ア) 試合時には面マスク及びマウスガードを必ず着用する。アイガードの着用も推奨する。それ以外（試合までの待機中等）は市販マスク（不織布カイブを推奨、以下「マスク」）を必ず着用する。

【入場・受付・更衣】

1. 参加者は、自宅と大会会場との往復の際にはマスクを着用し感染予防に努める。
2. 主催者は、入場口を広くしたり、多数の係員を配置したりするなど、参加者が施設に入場する時、行列にならないよう配慮する。
3. 参加者は施設への入場時、持参した健康チェックリストを提示する。
(ア) 健康チェックリストを持参しなかった者は、原則として入場できない。
(イ) 見学者、付き添い等は入場できない。
4. 入場口にアルコール除菌液を設置し、参加者は手指消毒を行う。
5. 参加者は体温測定を受ける。主催者は、非接触型体温計等により、参加者の体温測定を行う。
(ア) 体温測定により37.5度以上ある者は、入場できない。
6. 施設に入場後、参加者は受付を行う。受付で持参した健康チェックリストを提出する。なお、受付は、ロビー等可能な限り広い場所で実施する。
7. 受付は、密集を避けるため、複数か所設置し（参加部門により区分）、参加者を分散させる。分散がスムーズにできるよう、受付の表示を明確にする。
8. 受付が密集した場合、入場制限を行う。
9. 受付終了者は、更衣場所に移動し、剣道着・袴に着替えて、待機する。
(ア) 観覧席は密集にならないように、1席以上空けて使用する。
(イ) 更衣室は、密集状態にならないように配慮する。

【大会会場内での留意事項】

1. 参加者並びに関係者は、フィジカル・ディスタンス（人と人の距離、最低でも1メートル、できれば2メートル）を常に保つようにする。
2. 参加者は、大会会場では常にマスクを着用する。（試合時は面マスク及びマウスシールド、試合時以外もマスク又は面マスクを使用する）
審判員及び役員はマスクを着用、係員はマスクを着用し、併せてフェースシールドの使用を推奨する。
3. 参加者並びに関係者は、大会会場内でも、手洗い、うがい、アルコールによる除菌消毒に努める。
4. 大会中に大きな声での会話、応援をしない。

【暫定的な試合・審判の方法】

1. 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは暫定的な試合・審判法を感染状況等踏まえながら大会実施要項に定める。
2. 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
3. 全剣連ガイドラインに従い、試合者は、鏝競り合いを避ける。やむを得ず鏝競り合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さない（引き技時の発声は認める）。審判員は鏝競り合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。
4. 審判員の試合場への入退場の際は、1メートル以上の間隔を空けて行ない、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。（別添1）
5. 合議は1メートル以上の間隔を空けて行う。（別添2）
6. 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は、1メートル以上の間隔を空ける。
7. 審判員は、試合時マスクを着用する。また、各自の審判旗を持参して使用する。各試合会場の審判員控席にアルコール除菌液を設置し、手指消毒を行う。

【その他】

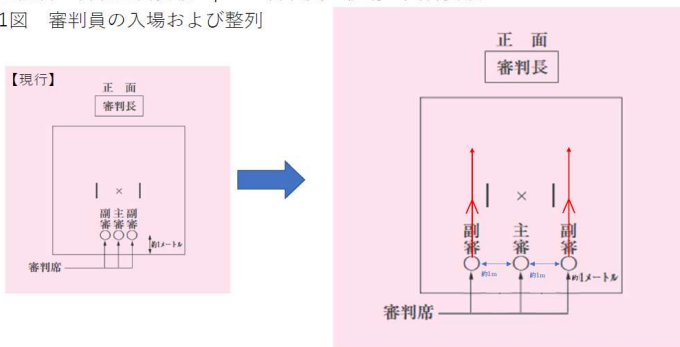
1. 大会会場では常に換気を行う。
2. 主催者は、多くの人に触れる用具、箇所（ドアノブなど）をできるだけその都度消毒する。
3. 参加者は、食事の空箱等、持参した物、ごみは必ず持ち帰る。
4. 主催者は参加者名簿を事前に大会運営事務局に提出する。
5. 参加者が持参した健康チェックリストは主催者が取り纏め、大会運営事務局で一定期間保管する。
6. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

大会運営事務局連絡先 港北区剣道連盟 総務部
 田中 090-5999-1329 Takahi_Tanaka@ydc.co.jp
 根崎 080-8701-9392 koichi@nezaki.com

【別添1】

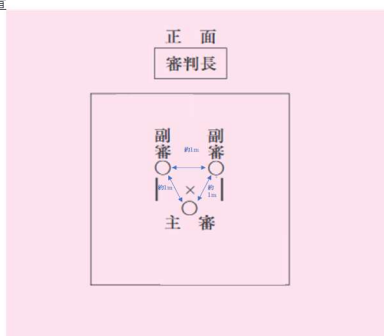
剣道試合・審判運営要領 p14 審判員の移動・交替要領

第1図 審判員の入場および整列



【別添2】

審判員合議時の位置



竹刀点検の徹底について

本連盟では、平成31年4月1日に、竹刀及び剣道具の安全性や公平性の面から、剣道試合・審判規則の改正を行い、大会時に限らず剣道人の皆様には改正趣旨に鑑み、日ごろから、より安全で公平な竹刀の使用を呼びかけてまいりましたが、昨今、「竹刀の破損による眼外傷」の重大事故の報告が届きました。

この重大事故の発生は、竹刀の点検・手入れの不備が大きな要因であると考えられます。

今後は、関連のある専門委員会ならびに全日本武道具協同組合などとの連携を図り、更なる原因究明と再発防止策の検討を始めるとともに、『竹刀及び剣道具規格』の見直し、改訂も視野に入れて進めていく所存です。

現状として、剣道試合・審判規則に明記されている「竹刀の基準（長さ、重さ、太さなど）」の遵守に加え、ちくとうの破損・ささくれ、付属品の破損・緩み、中結の位置（全長の約1/4）などの徹底した点検を使用前、使用中、使用后と頻繁に行うようお願いいたします。

特に冬から春先にかけて、日本は乾燥している季節でもあり、竹刀が傷みやすくなっております。点検の際には付属品を解いてちくとうの内側の割れや虫食いなどをしっかりと確認し、念入りな手入れを心掛けるよう切にお願いいたします。

幾度となく使用した竹刀は、打突部付近に負荷が一定期間集中し、反りや歪みが生じていることがあります。一度、反りや歪みが生じたちくとうのピースは、元に戻したように見えても一定の強度が保たれない可能性があります。安易に竹刀の上下（刀でいう棟と刃部）を逆に回したり、ちくとうのピースを組み替えたりすると大変危険です。ご注意ください。

全剣連ホームページ
<https://www.kendo.or.jp/information/20210203-2/>
より転載

大会参加者の皆様へお願い

下記注意事項について、事務局よりお願い申し上げます。

1. 駐車場はありませんので、お車での来場はお断りします。
2. 会場周辺は駐車禁止です、路上駐車厳禁です。
3. ビン、カン等は持ち込み禁止、又ゴミは必ず各自で持ち帰り下さい。
4. 当日の事故については主催者におきまして、応急処置をしますが、
それ以降は本人の責任において処理をして下さい。
5. 席取りや場所取りは禁止とさせていただきます。
各団体で譲り合ってください。
6. お帰りの際はくれぐれも忘れ物をしないようにお願いいたします。
7. 各時間帯で入替となりますので受付時間より前の入場はできません。
終了次第速やかに退館し、他の時間帯の参加者との接触はお控えください。
8. 各時間帯で選手一名につき、一名のみ付き添いの保護者等が入場できます。
9. 同一時間帯内であっても、参加者や付き添い同士での会話はできるだけお控えください。
10. 小学生は着替えた状態で入館し、そのまま着替えずに退館するようにお願いいたします。